

平成30年度湯梨浜町全国学力・学習状況調査結果の概要

平成30年9月公表

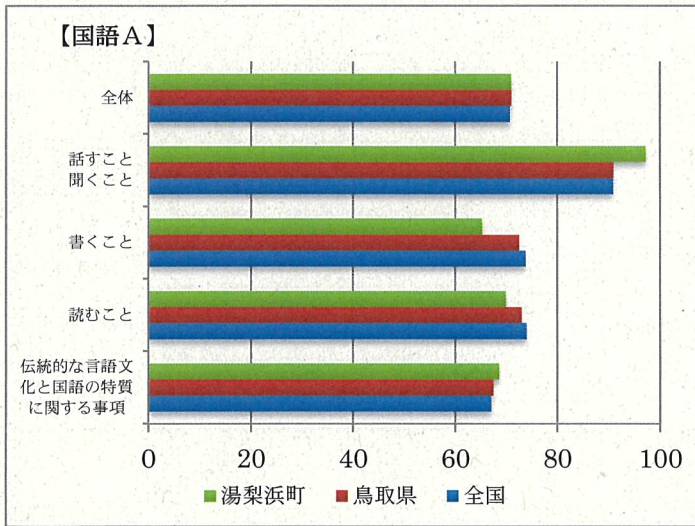
【小学校】教科に関する調査から ～国語・算数（A〔知識〕・B〔活用〕）、理科～

上段:平均正答率(%) 下段:平均正答数(問)

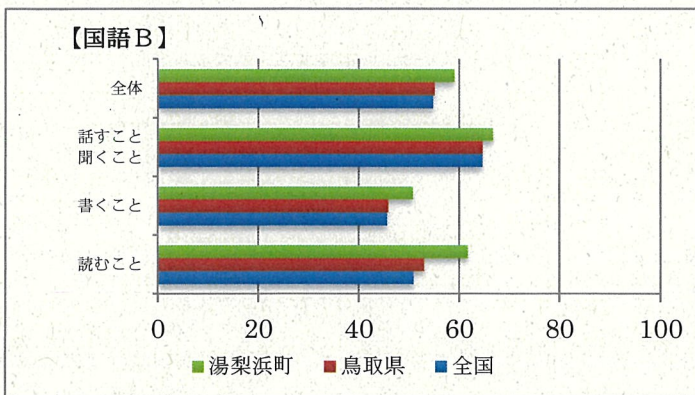
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
湯梨浜町	71	59	65	52	64
	8.5/12	4.7/8	9.1/14	5.2/10	10.2/16
鳥取県	71	55	62	50	60
	8.5/12	4.4/8	8.6/14	5.0/10	9.5/16
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
	8.5/12	4.4/8	8.9/14	5.1/10	9.6/16

(昨年度から、県・町の数値は小数点を四捨五入した整数で公表)

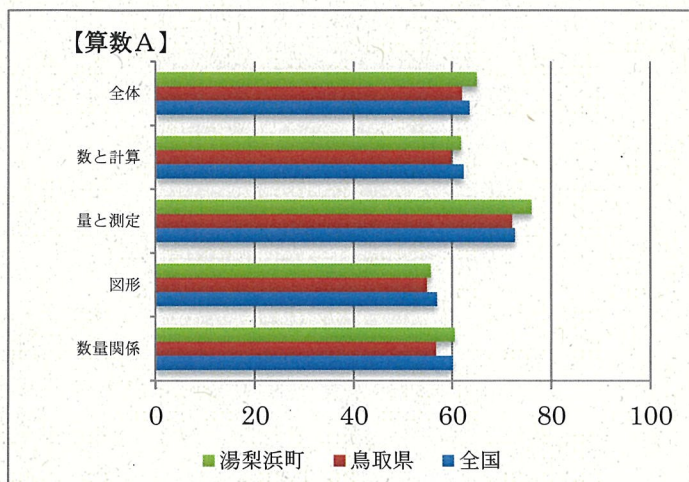
○正答率が高い主な項目、●正答率が低い主な項目



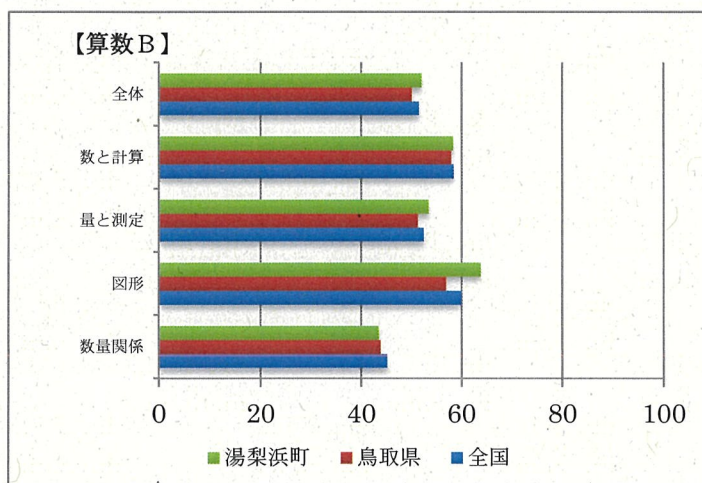
【国語A】
 全体の平均正答率は、全国平均とほぼ同じでした。
 ○「相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて適切なものを選ぶ」といった「話すこと・聞くこと」の問題がよくできていました。
 ●「文章全体の構成の効果」を考える「書くこと」の問題に課題があります。



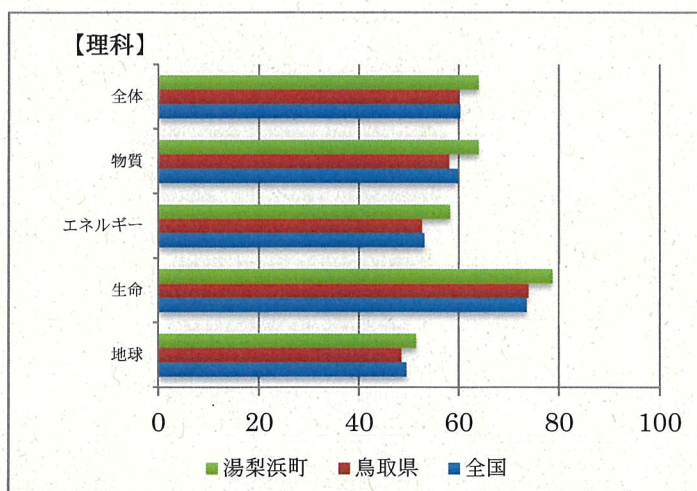
【国語B】
 全体の平均正答率、各領域の正答率とも全国平均を上回りました。
 ○「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」問題がよくできていました。



【算数A】
 全体の平均正答率は、全国平均を上回りました。
 ○「一方の量がそろっているときの込み具合の比べ方」を考える「量と測定」の理解がよくできていました。
 ●「図形」の「直径の長さと同円の長さの関係」について理解する問題に課題があります。



【算数B】
 全体の平均正答率は、全国平均をわずかに上回りました。
 ○「図形の構成要素や性質を基に、角の大きさの和が 360° になっていることを記述式で解答」する問題がよくできていました。
 ●「棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断する」問題に課題があります。



【理科】
 全体の平均正答率、各領域の正答率とも全国平均を上回りました。
 ○「回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ」「食塩水を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ」問題がよくできていました。

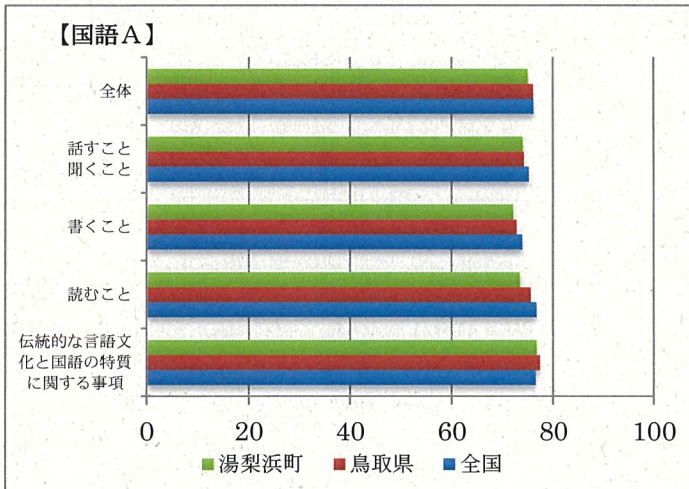
【中学校】教科に関する調査から ～国語・数学（A〔知識〕・B〔活用〕）、理科～

上段:平均正答率(%) 下段:平均正答数(問)

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
湯梨浜町	75	58	63	40	62
	24.1/32	5.2/9	22.7/36	5.6/14	16.7/27
鳥取県	76	60	66	45	66
	24.4/32	5.4/9	23.7/36	6.3/14	17.8/27
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1
	24.3/32	5.5/9	23.8/36	6.6/14	17.9/27

(昨年度から、県・町の数値は小数点を四捨五入した整数で公表)

○正答率が高い主な項目、●正答率が低い主な項目

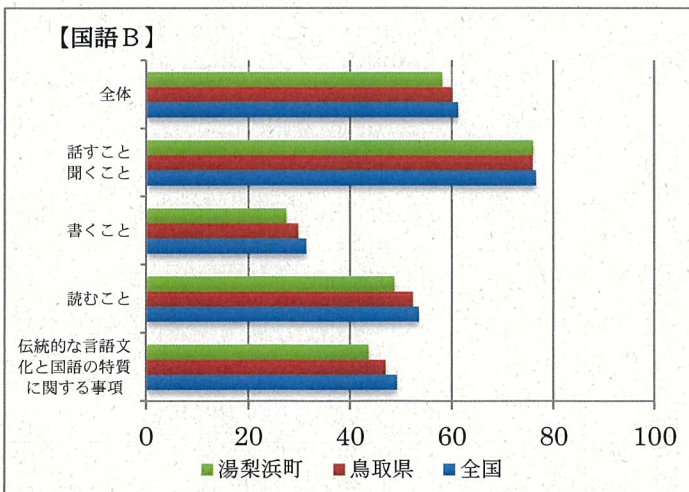


【国語 A】

全体の平均正答率は、全国平均をわずかに下回りました。

○「話合いの話題や方向性を捉えて的確に話す」問題がよくできていました。

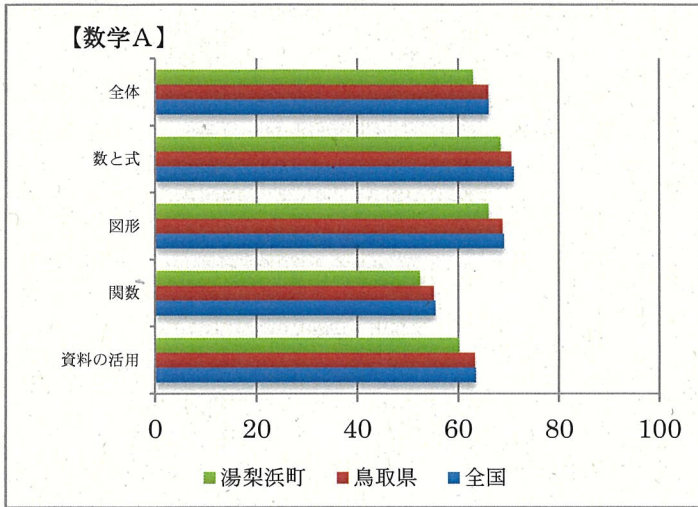
●「書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているか」を検討する「書くこと」の問題に課題があります。



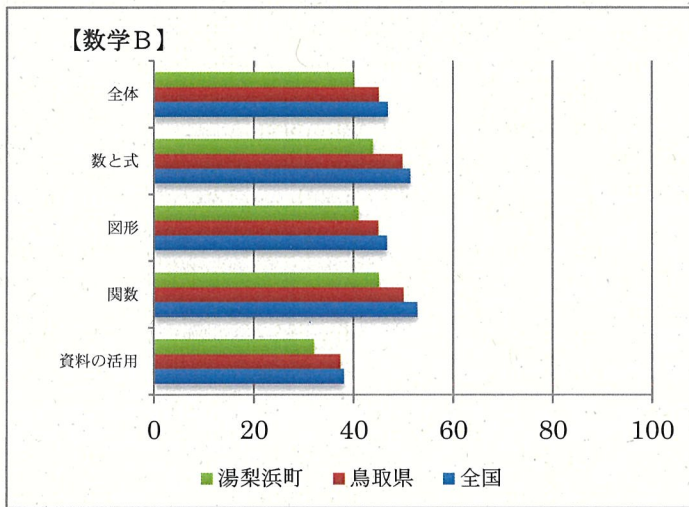
【国語 B】

全体の平均正答率は、全国平均を下回りました。

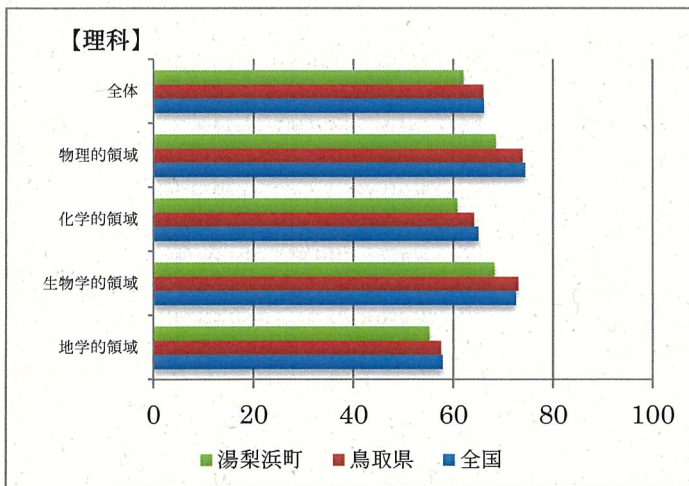
●「文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える」「登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる」問題に課題があります。



【数学A】
 全体の平均正答率は、全国平均を下回りました。
 ● 「方程式を解く場面における等式の性質の使い方について理解している」「ひし形が線対称な図形か点対称な図形かを選ぶ」「三角形の外角を表す式を選ぶ」問題が全国平均を下回りました。



【数学B】
 全体の平均正答率は、全国平均を下回りました。
 ● 「与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる」「計算の順番を入れ替えたときの計算結果を数学的に表現する」問題が全国平均を下回りました。



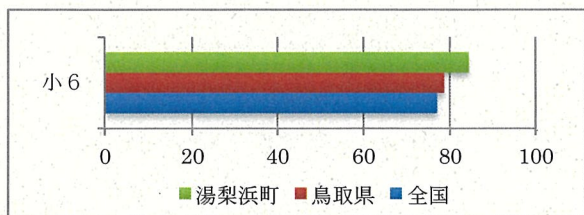
【理科】
 全体の平均正答率は、全国平均を下回りました。
 ● 「神経系の働き」「オームの法則を使って、抵抗の値を求める」問題が全国平均を下回りました。

質問紙調査から ～学習習慣や生活習慣などに関する質問～

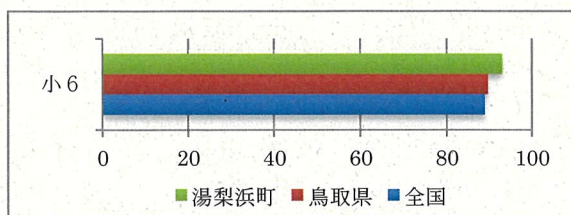
○よいと考えられる主な項目、●課題と考えられる主な項目 [単位：%]

【小学校】

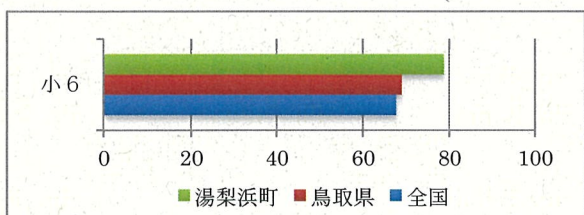
○毎日、同じくらいの時刻に寝ている



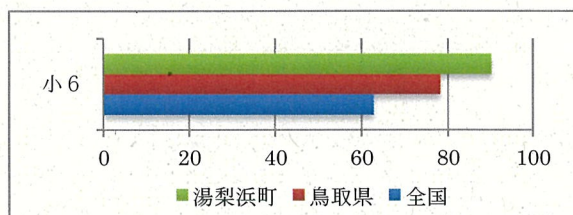
○毎日、同じくらいの時刻に起きている



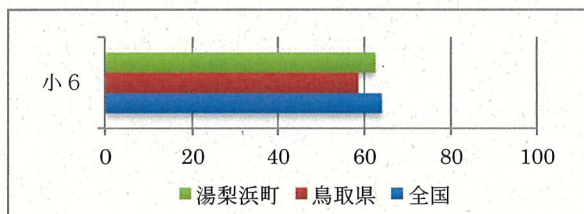
○家で、自分で計画を立てて勉強をしている



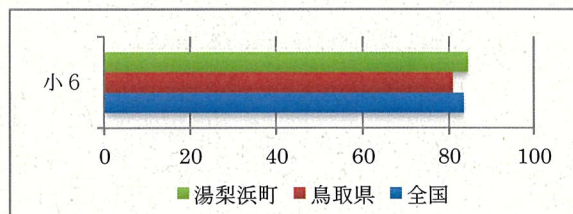
○住んでいる地域の行事に参加している



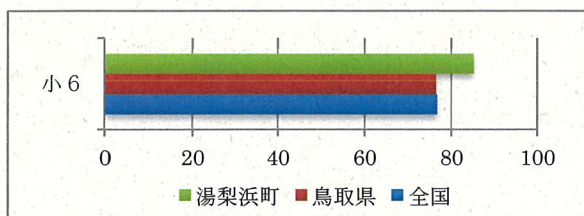
●算数の勉強が好き



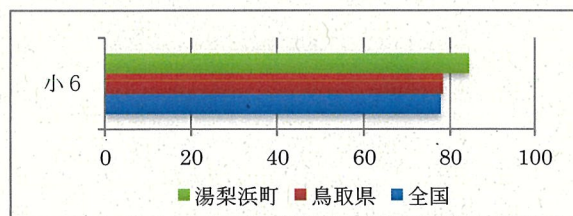
○算数の授業の内容はよく分かる



○5年生までに受けた授業で、問題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

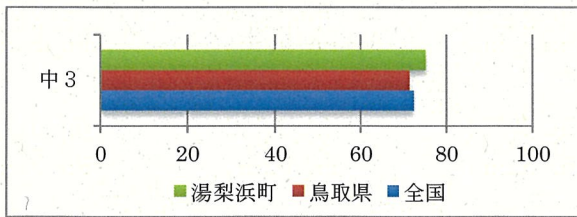


○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている

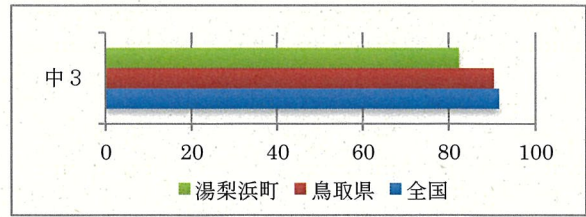


【中学校】

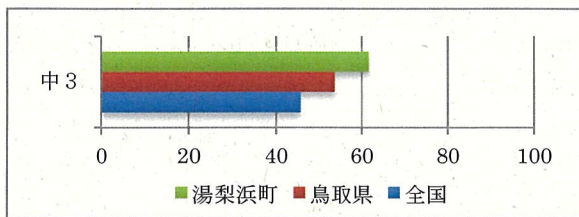
○将来の夢や目標を持っている



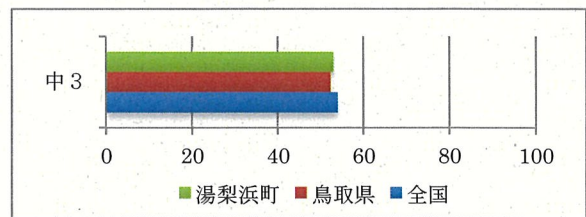
●家で、学校の宿題をしている



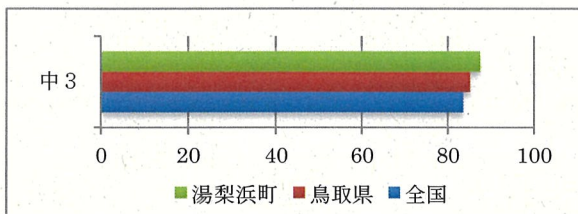
○今住んでいる地域の行事に参加している



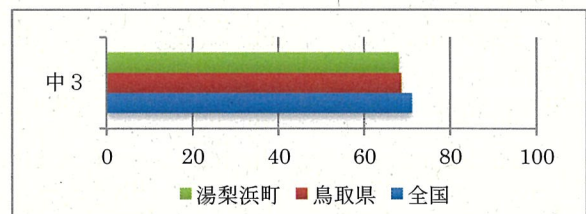
●数学の勉強が好き



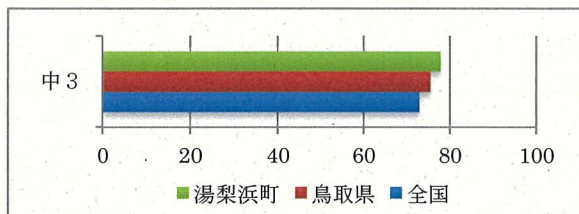
○数学の勉強は大切だと思う



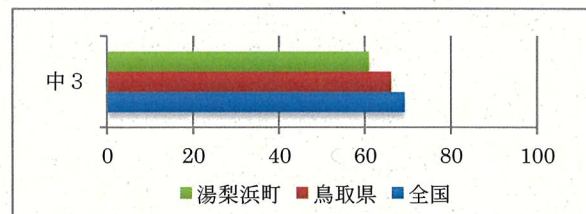
●数学の授業の内容はよく分かる



○数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う



●数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える



【今後の取組について】

- ・児童生徒の主体的・対話的で深い学びが実現される授業づくりに各校が引き続き取り組んでいきます。基礎基本の定着とともに、自分の考えを持ち話し合いながら深めたり広げたりする学習活動を積み上げ、思考力や判断力を育成する授業改善に取り組んでいきます。同時に、小学校と中学校の教師がともに主体的・協働的な授業を創造することで、9年間の一貫した教育の推進を図っていきます。
- ・授業とのつながりを意識した家庭学習の推進、習慣化に取り組むとともに、家庭での基本的な生活習慣の定着について啓発し、学校と家庭が一体となって進めます。